

ふくおかの経済

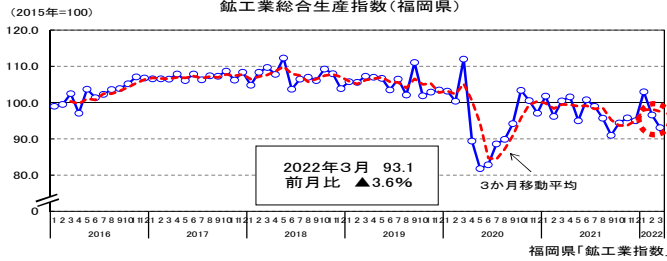
令和4年5月号



生産

持ち直しに足踏みがみられる。

3月の生産指数は、輸送機械工業などの低下により2か月連続で前月を下回りました。

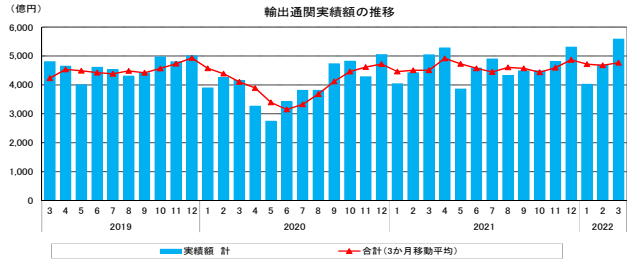


鉱工業生産指数は、2015年の生産水準を100として、その変化を表しています。

貿易

輸出、輸入ともに、おおむね横ばいとなっている。

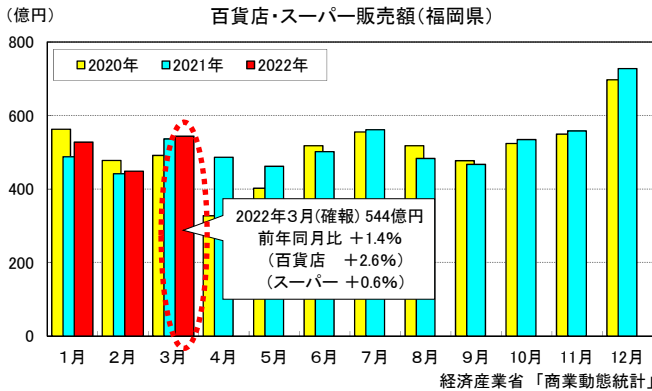
3月の輸出は、前年同月比+10.8%と前年を上回りましたが、3か月移動平均では横ばいの動きとなっています。



消費

このところ持ち直しの動きがみられる。

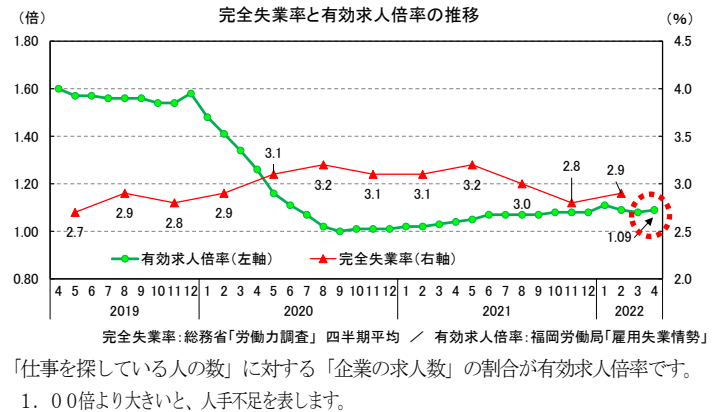
3月の百貨店・スーパー販売額は、6か月連続で前年を上回りました。



雇用

雇用情勢は、求人の改善傾向は続いているものの、一部に厳しさが見られる。

4月の有効求人倍率は1.09倍で、前月から0.01ポイント上昇しました。



今月のトピック 最近の物価高騰の状況について

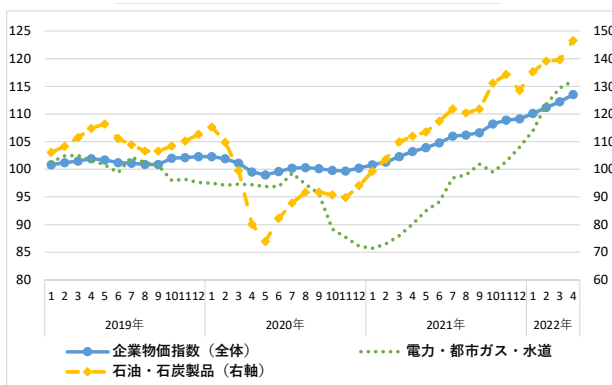
○ウクライナ情勢による資源高、円安の影響で、物価上昇が顕著になっています。2022年4月の企業物価指数は前年同月比10.0%上昇と、1980年12月以来約41年ぶりに2ケタの伸びとなりました(図表1)。中でも「石油・石炭製品」が上昇に最も大きく寄与しており、その影響で「電力・都市ガス・水道」も上昇しています。

○消費者物価指数についても、2022年4月は全国の生鮮食品を除く総合指数が前年同月比2.1%上昇し、消費増税の影響を除くと13年半ぶりに前年同月比プラス2%を突破しました(図表2)。これは、電気代やガス代などのエネルギー指数の上昇(全国指数の前年同月比+19.1%で寄与度は+1.38)が強く影響しています。

○政府は急激な価格高騰による当面の影響を緩和するため、「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」を取りまとめ、関連する補正予算が5月31日に成立しましたが、この対策の迅速かつ着実な実行が重要になってくると考えられます。

図表1

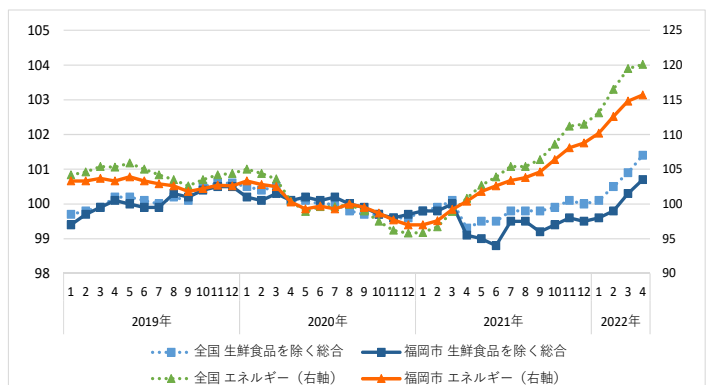
企業物価指数の推移(2015年平均=100)



出所:日銀「企業物価指数」

図表2

消費者物価指数の推移(全国、福岡市、2020年平均=100)



出所:総務省「消費者物価指数」